

モニターアンケート集計結果概要（平成 23 年度）

アジア歴史資料センター

主にアジア歴史資料センター（以下「アジ歴」）の利用拡大や認知度向上に資するため、平成 23 年度はアジ歴ユーザーの利用状況のほか、ホームページデザインの変更、新コンテンツの作成、システム更新による追加機能等についてモニターアンケートを実施し（平成 23 年 12 月～平成 24 年 3 月募集、平成 24 年 2 月～3 月実施）、59 名から御回答をいただきました。

モニターの方からの御意見を参考に、アジ歴としては、今後も利便性の向上を図ってまいりたいと思います。

●インターネットを利用した検索サイト等でのアジ歴へのアクセス

研究や業務を行う際の資料の入手手段について、「インターネットで調べることが多い」と61%の方が回答しており、また、アジ歴を知った方法として61%の方が「インターネット検索で知った」と回答しています。

また、検索サイトでの検索結果でアジ歴のページにヒットしやすくなれば便利と73%もの方が回答しています。

⇒研究や業務のためインターネットで資料を入手する方や、インターネットでアジ歴を認知する方が多いことから、インターネット検索の際にアジ歴へのアクセスを向上させる方策を検討しています。その一環として、いままで検索サイトからはアクセスができなかった「資料の閲覧」コーナーの資料に誘導するページを作成し、公開する準備をしています。

●トップページデザイン

トップページデザインの変更については、以前より使いやすくなったとの意見が多くおおむね好評ですが、改善要望としては、「資料の閲覧部分にある検索バーや入力する白い囲いが、見にくい、わかりづらい」、「右上（資料の閲覧コーナー）の「ご利用方法」「検索方法」等の入り口は濃い色にしたほうが目立つ」、「キーワード検索画面についてはもっと枠囲みなどして目立っても良い」、「『お知らせ』は上の方にしたほうが見やすくよい（トピックス等は下の方に）」、「『閲覧数の多い資料』といった項目があればユーザーの興味を引きやすい」等の意見がありました。

⇒御指摘を踏まえ、当面は「資料の閲覧」コーナーの配色変更などの準備をしていくなど、今後、順次改善していきたいと思えます。

●アジ歴ニューズレター

アジ歴ニューズレターは、ホームページからもバックナンバーで読むことができます。

ホームページコンテンツとして浸透していないことが判明しました。

●新システムでの追加機能

- (1) 10月より新システムの運用が開始され、「資料の閲覧」コーナーで機能（「検索エリア」、「辞書・表記揺れ」、「詳細を開く」等）を追加しました。特に「ヒットした検索語（キーワード）にハイライト機能を追加」したこと、「複数の資料画像が別ウィンドウで開くことが可能となった」ことが好評でした。
- (2) 以前のシステムでは使い勝手が十分ではなかった JPEG 画像閲覧の機能向上（拡大・縮小が容易になった等）を図りましたが、DjVu 画像の閲覧を利用できないユーザーも多いことから、おおむね好評でした。
- (3) なお、全文をテキスト化してほしいという要望が多数寄せられました。
⇒予算的にも、作業体制的にも、現状では全文テキスト化は困難ですが、先頭 300 文字の精度向上等を通じて、利便性の向上を図りたいと考えます。

●PDF 形式の画像表示の希望状況

「強く希望する」は 17%ですが、「汎用性が高い」、「自分のパソコンに保管できる」等便利な面もあるため、希望する方全体では 43%もいました。

●新特集ページ「震災と復興」

「震災と復興」については、「分量が適切である」が 59%、「説明文は分かりやすい」が 58%とおおむね好評でしたが、「(掲載されている) 文書そのものについての解説をもう少し詳しくしてほしい」等もっと充実すべきとの声も多くありました。また、DjVu 形式以外の画像ファイル掲載の要望もありました。

⇒インターネット特別展や特集ページは、随時修正を行っていますので、作業の進捗にあわせて適宜改善を図っていきます。

●アジ歴の広報の取組

今後参加したいアジ歴の取組みとして、52%と多くの方が「展示会等におけるアジ歴の展示」を希望しており、研究協議会等における出展ブースなどがあれば、興味をもって見てもらえることが分かりました。

また、研究や業務を行う際の資料を図書館や文書館、博物館等類縁機関で調べることが多い方が 36%もおり、更に全国各地にある類縁機関との連携を期待する意見も寄せられました。

⇒今後は、博物館等を始め類縁機関との連携を一層進め、アジ歴の利用拡大、認知度向上に生かしたいと考えます。